

鳥取県の地震

2024年（令和6年）1月

鳥取地方気象台

目次

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動	
震央分布図及び断面図、概況	1
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震	
震度のリスト	2
震度分布図	3
(3) 地震・津波の知識	
「令和6年能登半島地震」について ②	9

- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

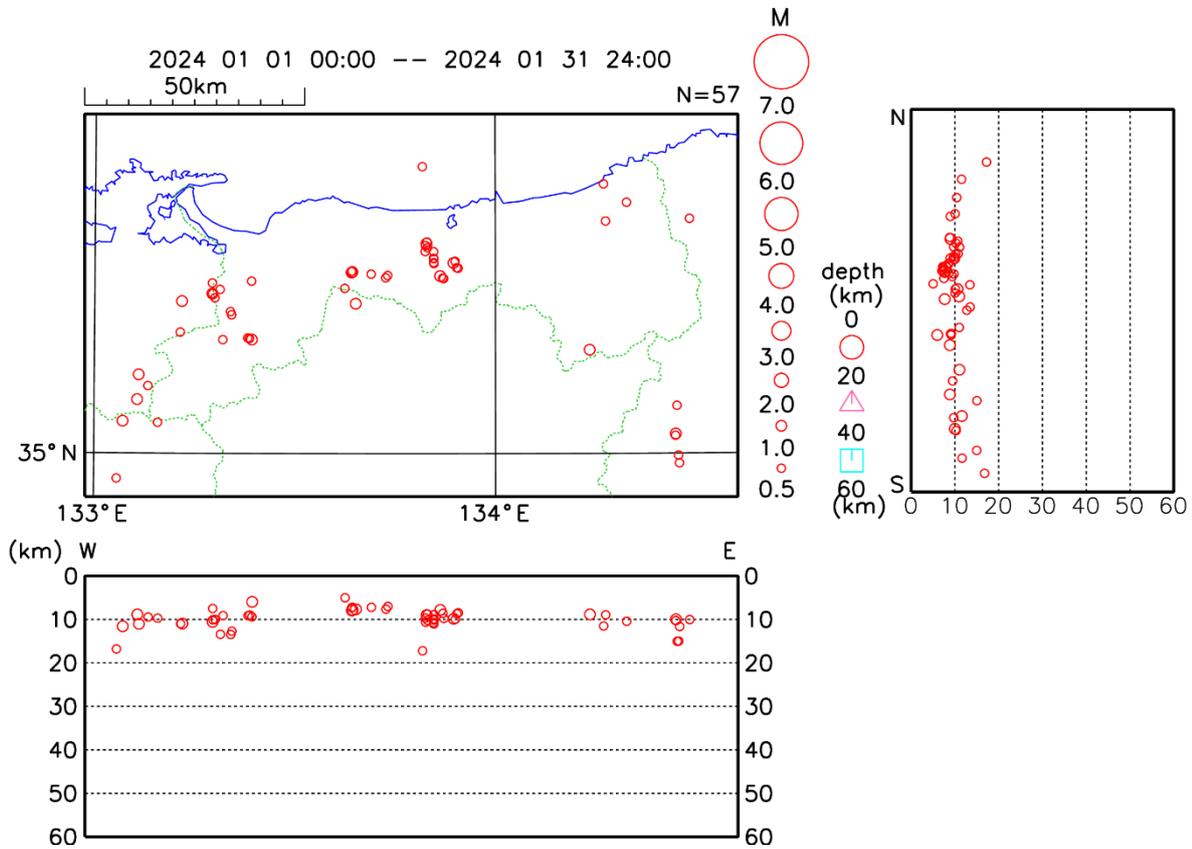
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

- 本資料の地震の震源要素、震度データ及び発震機構解等は再調査された後、修正されることがある。

* 広域の地震については、大阪管区気象台作成の「大阪管内地震活動図」をご覧ください。
大阪管内地震活動図URL <https://www.jma-net.go.jp/osaka/jishinkazan/kanindex.html>

(1) 鳥取県とその周辺の地震活動

[震央分布図・断面図]



[概況]

2024年1月に鳥取県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は6回（前月は0回）でした。

1日16時10分 石川県能登地方の地震（深さ16km、M7.6：上図の範囲外）およびほぼ同時に発生した2回の地震により、石川県輪島市・志賀町で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市で震度4を観測したほか、県内の多くの地点で震度3～1を観測しました。

1日16時56分 石川県能登地方の地震（深さ14km、M5.8：上図の範囲外）により、石川県輪島市・穴水町で震度5強を観測したほか、東北から中国地方にかけて震度5弱～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市・湯梨浜町・北栄町で震度1を観測しました。

1日18時08分 能登半島沖の地震（深さ14km、M5.8：上図の範囲外）により、石川県珠洲市で震度5強を観測したほか、東北から中国地方にかけて震度5弱～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市・北栄町で震度1を観測しました。

2日10時17分 石川県能登地方の地震（深さ10km、M5.6：上図の範囲外）により、石川県輪島市・穴水町で震度5弱を観測したほか、東北から中国地方にかけて震度4～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市で震度1を観測しました。

3日10時54分 石川県能登地方の地震（深さ13km、M5.6：上図の範囲外）により、石川県輪島市で震度5強を観測したほか、東北・東海・甲信越・北陸・近畿・中国地方にかけて震度4～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市で震度1を観測しました。

9日17時59分 佐渡付近の地震（深さ27km、M6.1：上図の範囲外）により、新潟県長岡市で震度5弱を観測したほか、東北から中国地方にかけて震度4～1を観測しました。鳥取県内では鳥取市で震度1を観測しました。

上記震央分布図内において、M2.0以上の地震は0回（前月は1回）でした。

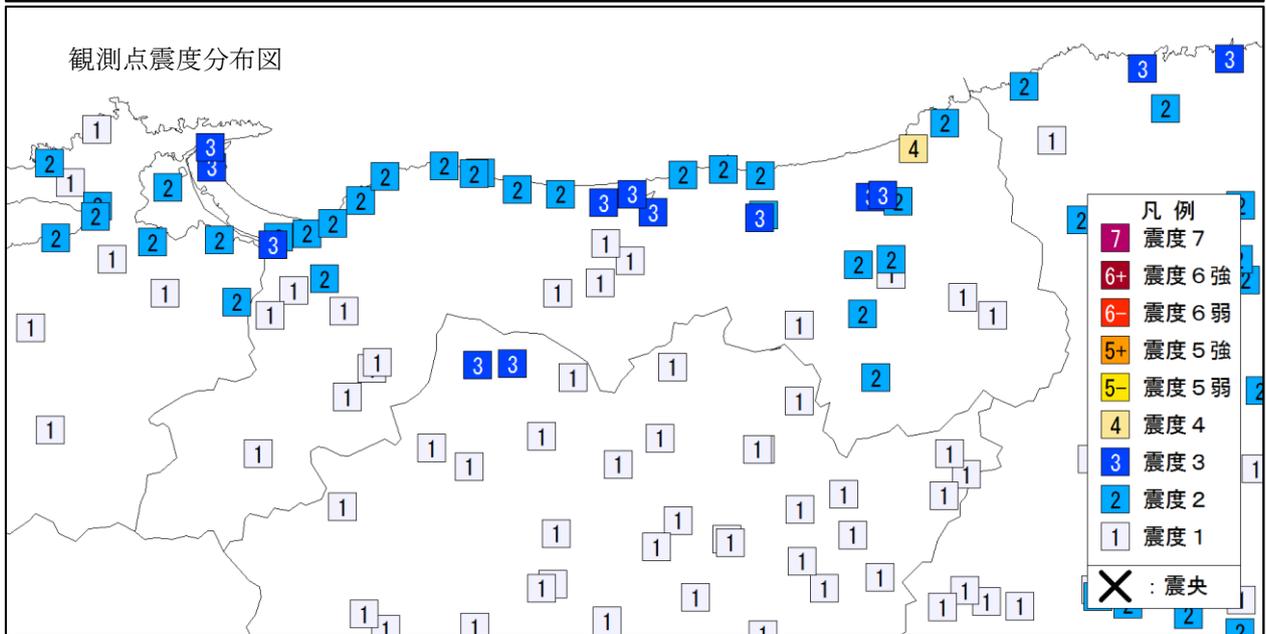
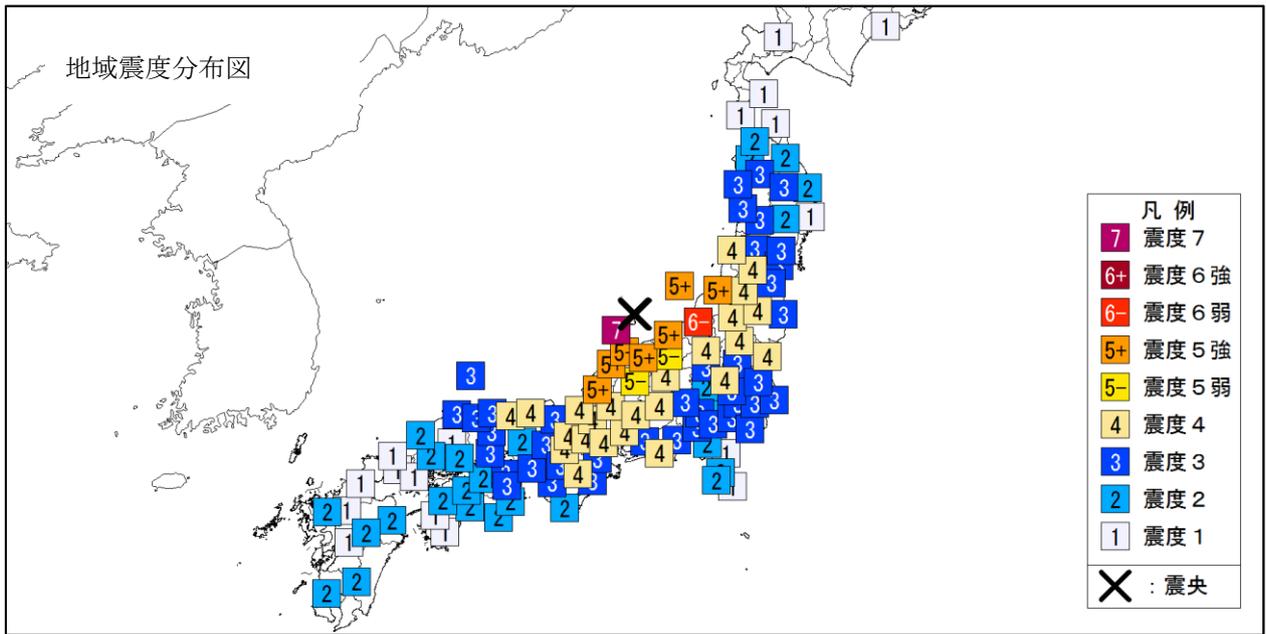
(2) 鳥取県内で震度1以上を観測した地震

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震及び震度のリスト]

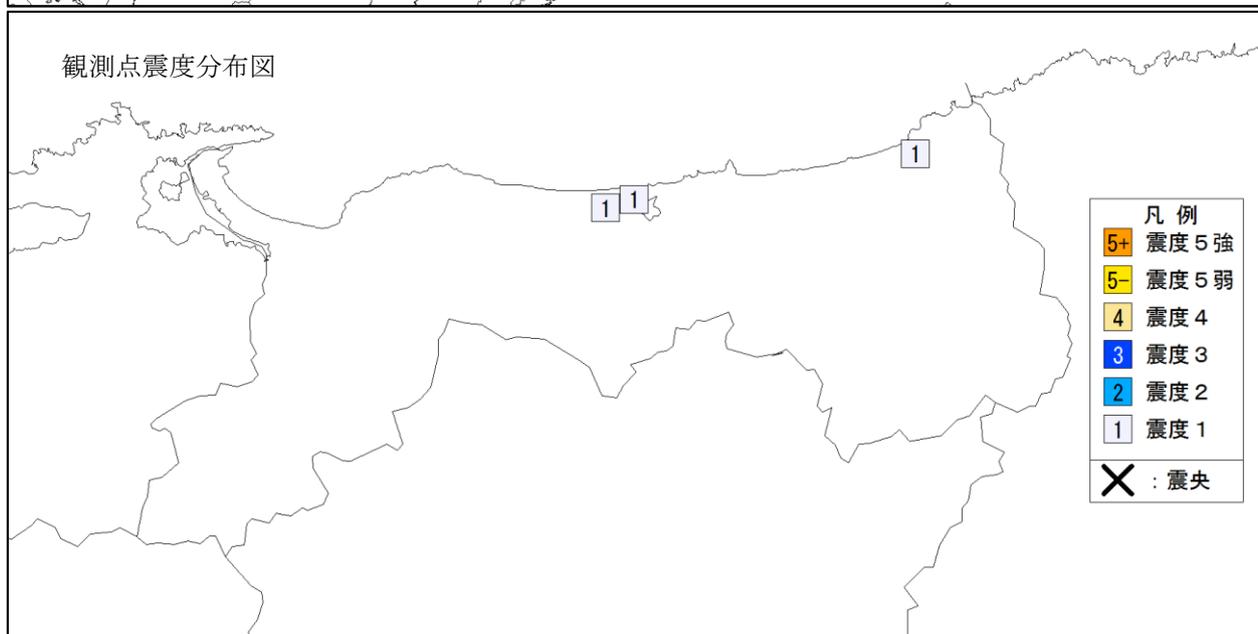
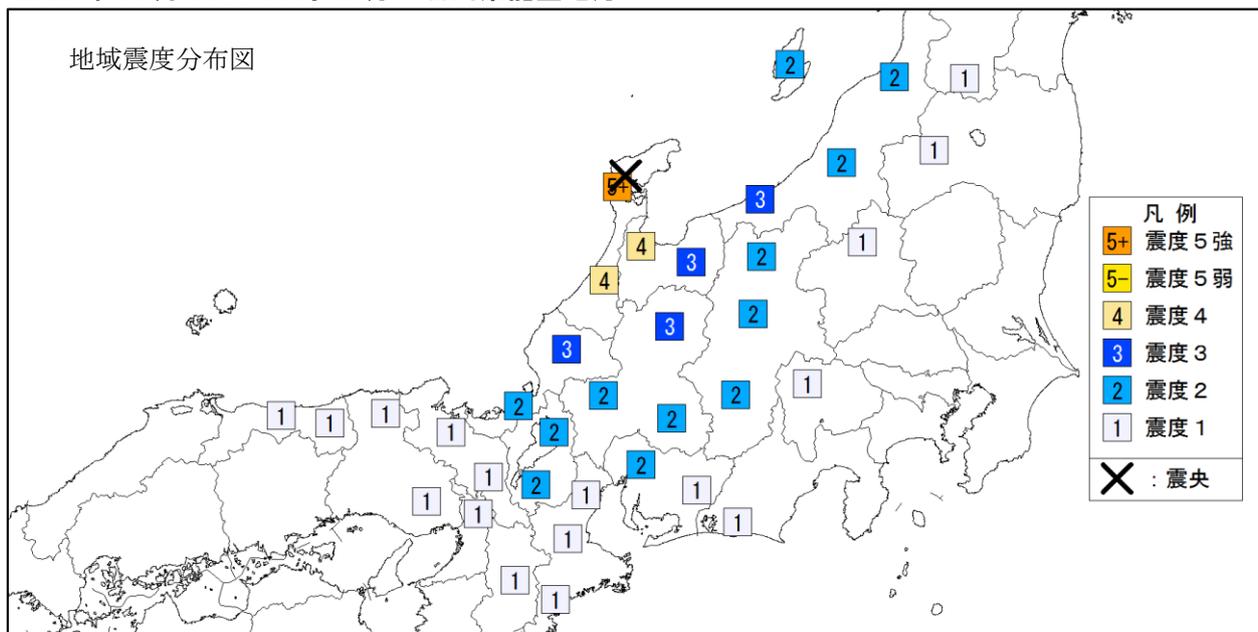
発震時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ	マグニチュード
2024年01月01日16時10分	石川県能登地方	37° 29.7' N	137° 16.2' E	16km	M7.6
2024年01月01日16時10分	石川県能登地方	37° 30.4' N	137° 13.8' E	10km	M5.9
2024年01月01日16時10分	能登半島沖	37° 31.0' N	137° 14.4' E	10km	M---
----- 地点震度 -----					
鳥取県	震度 4 : 鳥取市福部町細川*				
	震度 3 : 鳥取市吉方, 鳥取市吉成*, 鳥取市鹿野町鹿野小学校*, 湯梨浜町久留* 湯梨浜町龍島*, 北栄町土下*, 米子市東町*, 境港市東本町, 境港市竹内町*				
	震度 2 : 鳥取市用瀬町用瀬*, 鳥取市鹿野町鹿野*, 鳥取市国府町宮下* 鳥取市気高町浜村*, 鳥取市河原町渡一木*, 鳥取市青谷町青谷*, 岩美町浦富 智頭町智頭, 八頭町郡家*, 琴浦町赤碕中学校*, 琴浦町赤碕*, 琴浦町徳万* 湯梨浜町泊*, 北栄町由良宿*, 米子市博労町, 米子市淀江町*, 日吉津村日吉津* 大山町御来屋*, 大山町末長*, 大山町赤坂*, 伯耆町吉長*				
	震度 1 : 鳥取市佐治町加瀬木*, 鳥取若桜町若桜*, 八頭町船岡*, 八頭町北山* 倉吉市岩倉長峯, 倉吉市葵町*, 倉吉市関金町大鳥居*, 三朝町大瀬* 日南町生山*, 鳥取日野町根雨*, 江府町上之段広場*, 江府町江尾* 鳥取南部町法勝寺*, 鳥取南部町天萬*, 伯耆町溝口*				
2024年01月01日16時56分	石川県能登地方	37° 15.7' N	136° 51.4' E	14km	M5.8
----- 地点震度 -----					
鳥取県	震度 1 : 鳥取市福部町細川*, 湯梨浜町久留*, 北栄町土下*				
2024年01月01日18時08分	能登半島沖	37° 34.7' N	137° 22.9' E	14km	M5.8
----- 地点震度 -----					
鳥取県	震度 1 : 鳥取市福部町細川*, 北栄町土下*				
2024年01月02日10時17分	石川県能登地方	37° 13.3' N	136° 43.3' E	10km	M5.6
----- 地点震度 -----					
鳥取県	震度 1 : 鳥取市福部町細川*				
2024年01月03日10時54分	石川県能登地方	37° 22.4' N	136° 52.3' E	13km	M5.6
----- 地点震度 -----					
鳥取県	震度 1 : 鳥取市福部町細川*				
2024年01月09日17時59分	佐渡付近	37° 54.6' N	137° 45.8' E	27km	M6.1
----- 地点震度 -----					
鳥取県	震度 1 : 鳥取市福部町細川*				

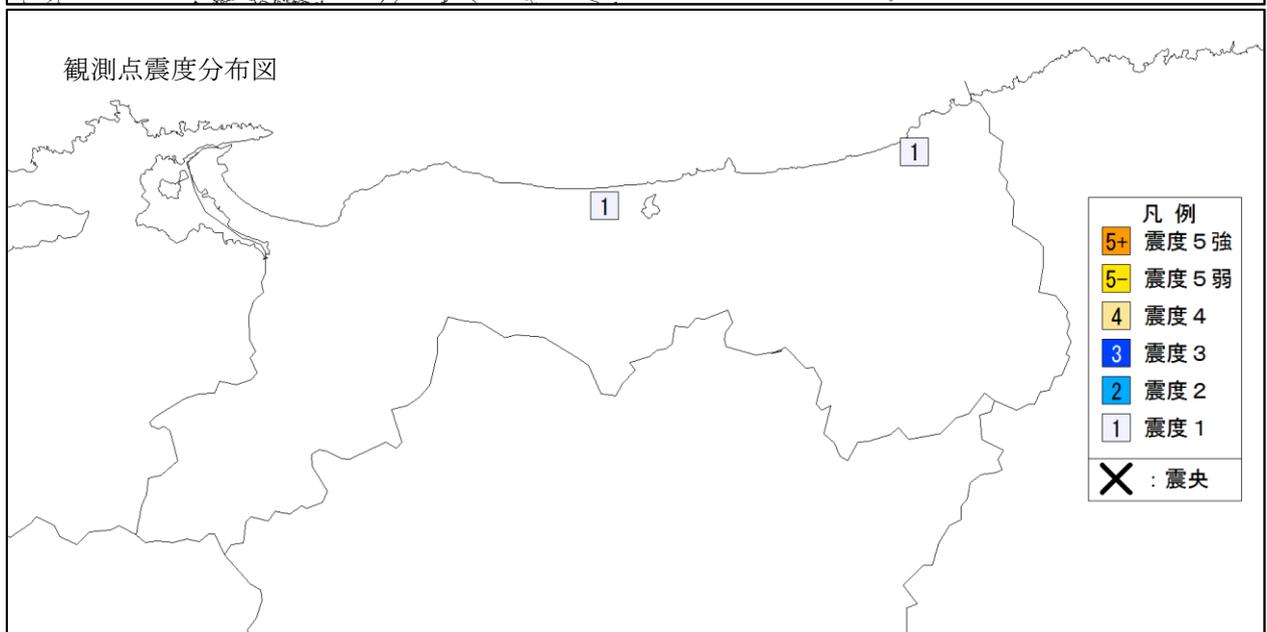
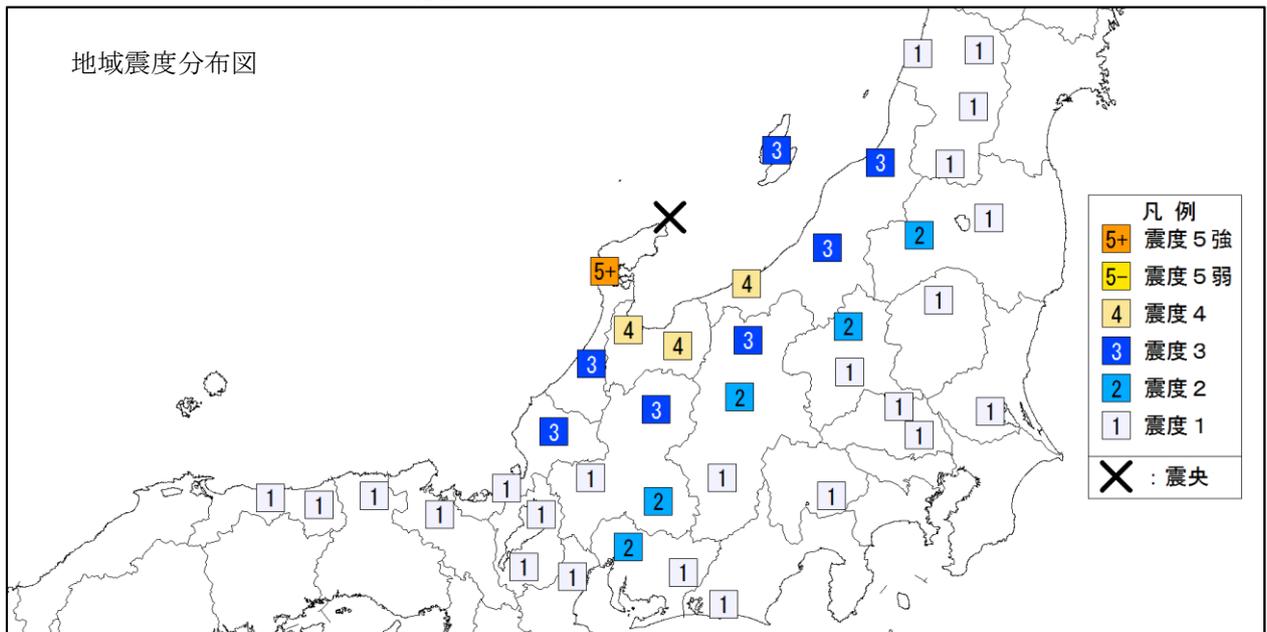
- ・ *印のついている地点は、鳥取県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
- ・ 震源が複数記載されている地震は、ほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないものです。
- ・ 鳥取県内で震度4以上を観測したのは、2018年4月9日に発生した島根県西部の地震(M6.1:米子市・境港市・日野町で震度4を観測)以来となります。

[鳥取県内で震度1以上を観測した地震の震度分布図 (図中×は震央)]
 2024年01月01日16時10分 石川県能登地方等

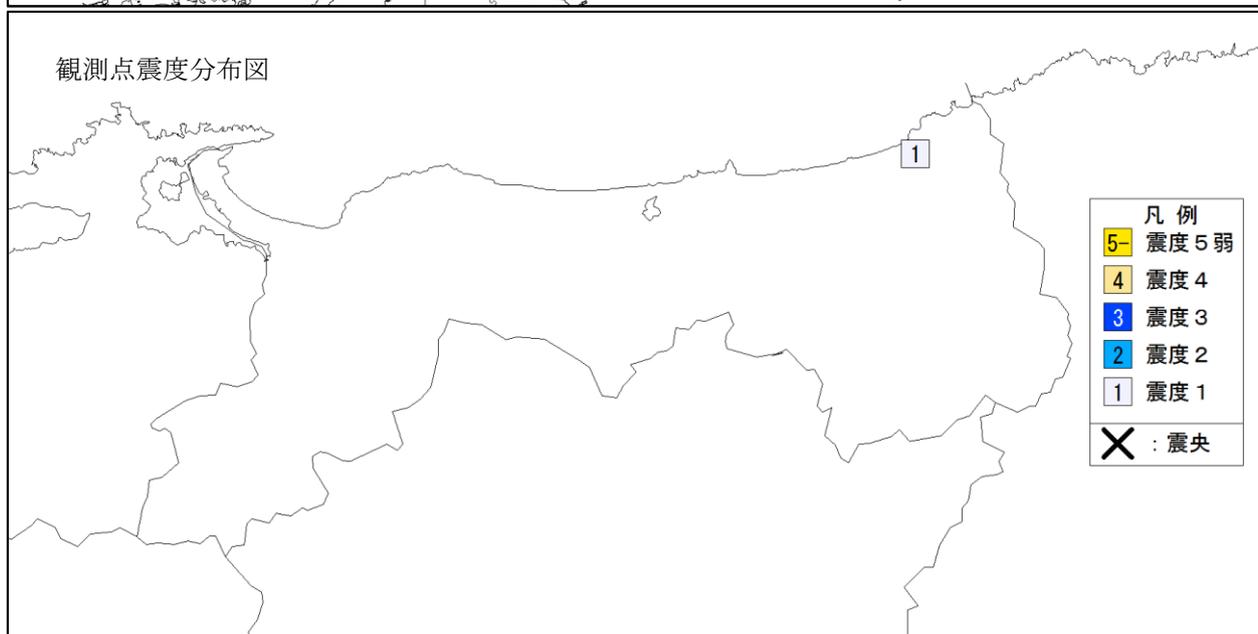
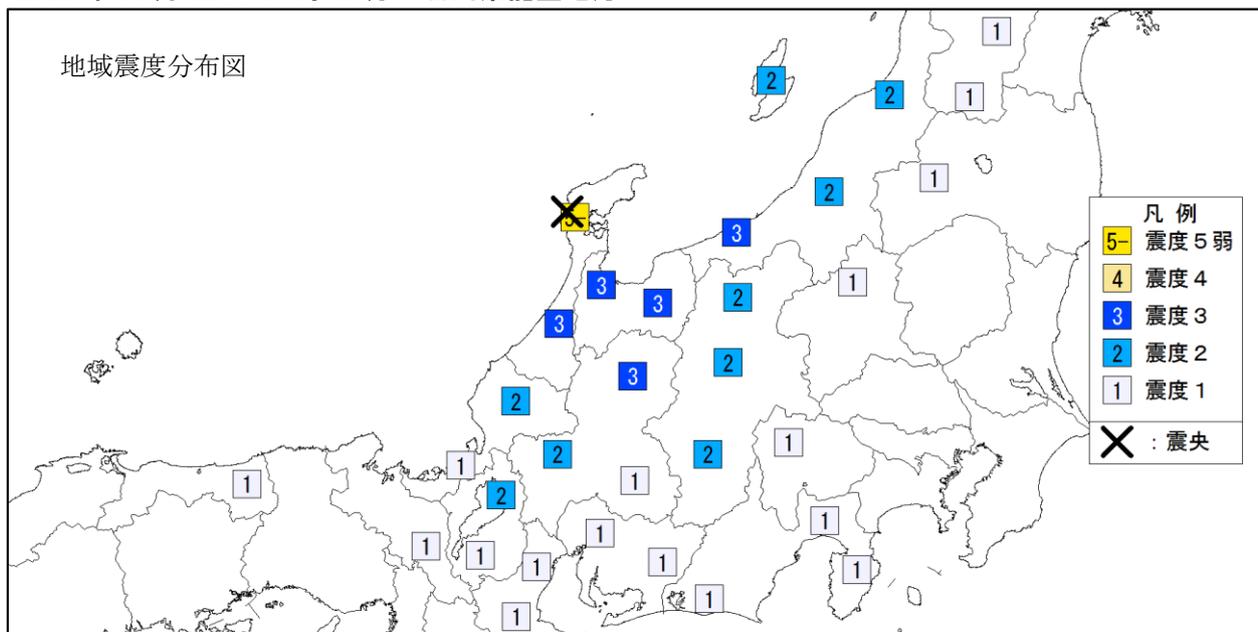


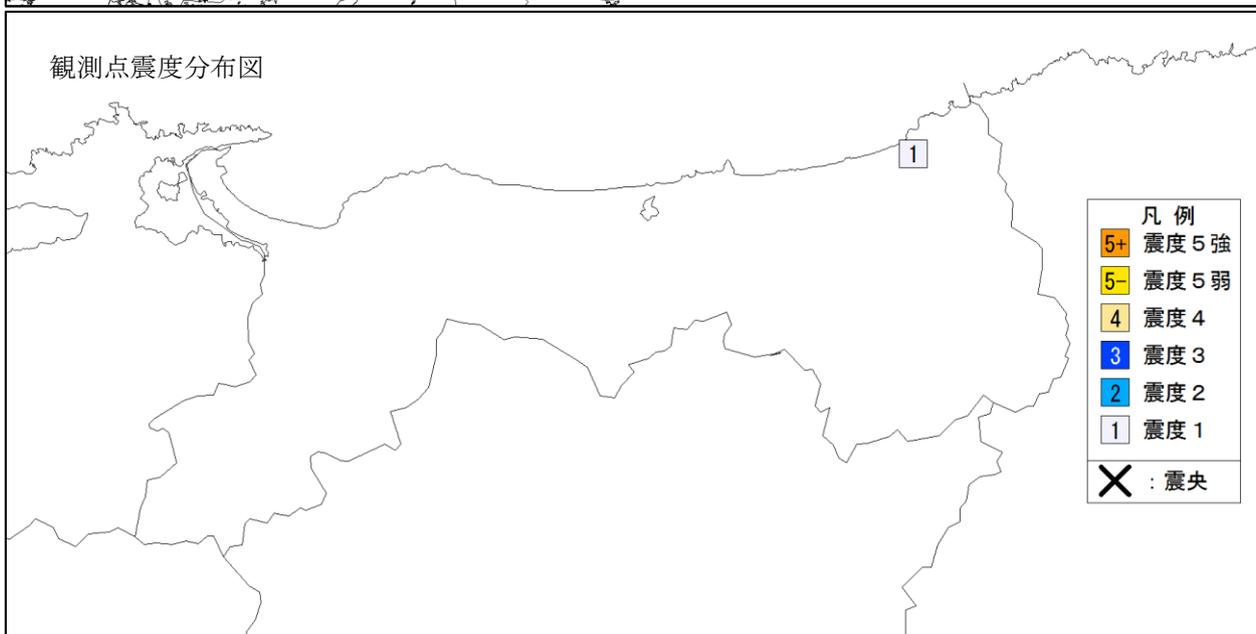
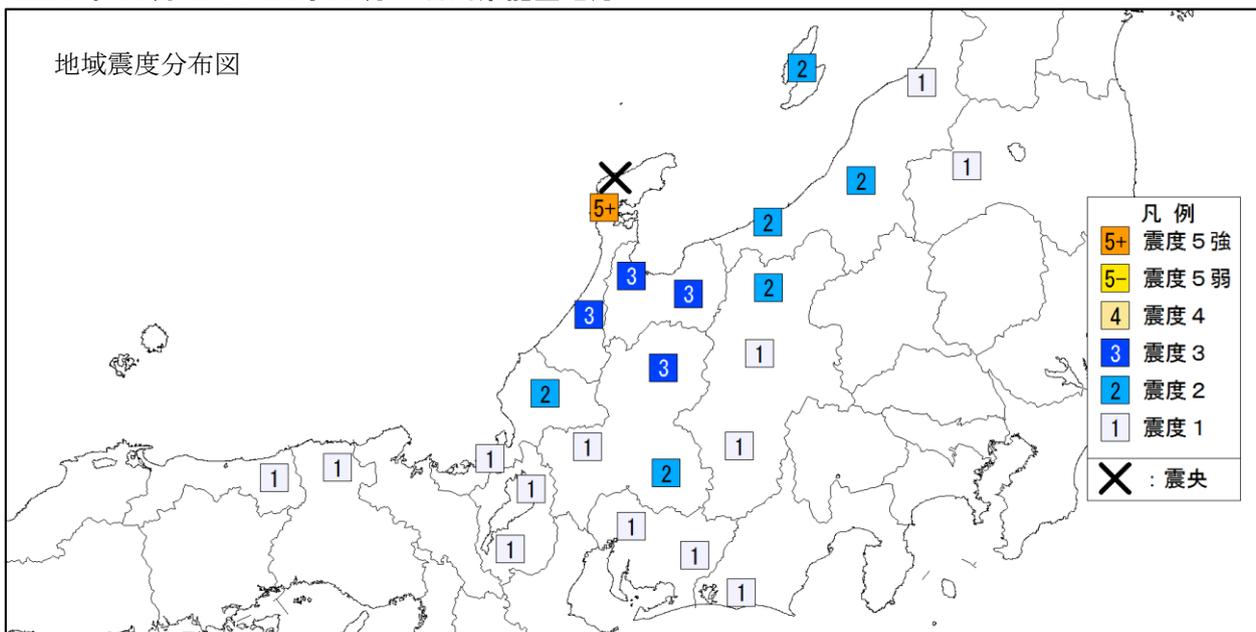
2024年01月01日16時56分 石川県能登地方

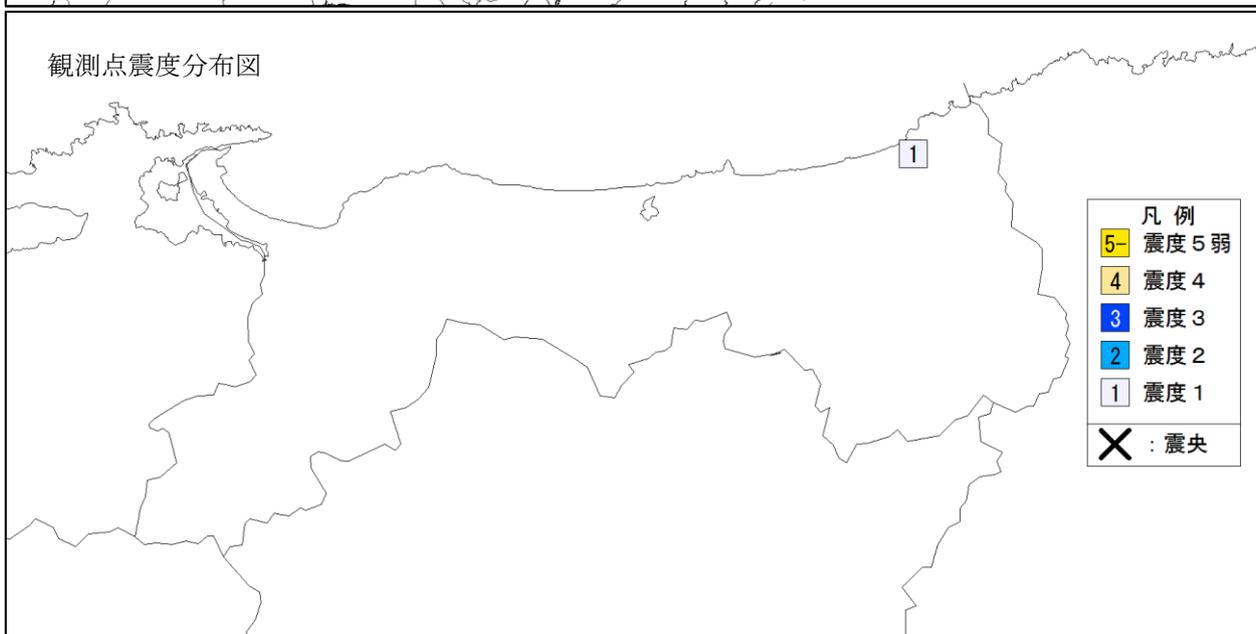
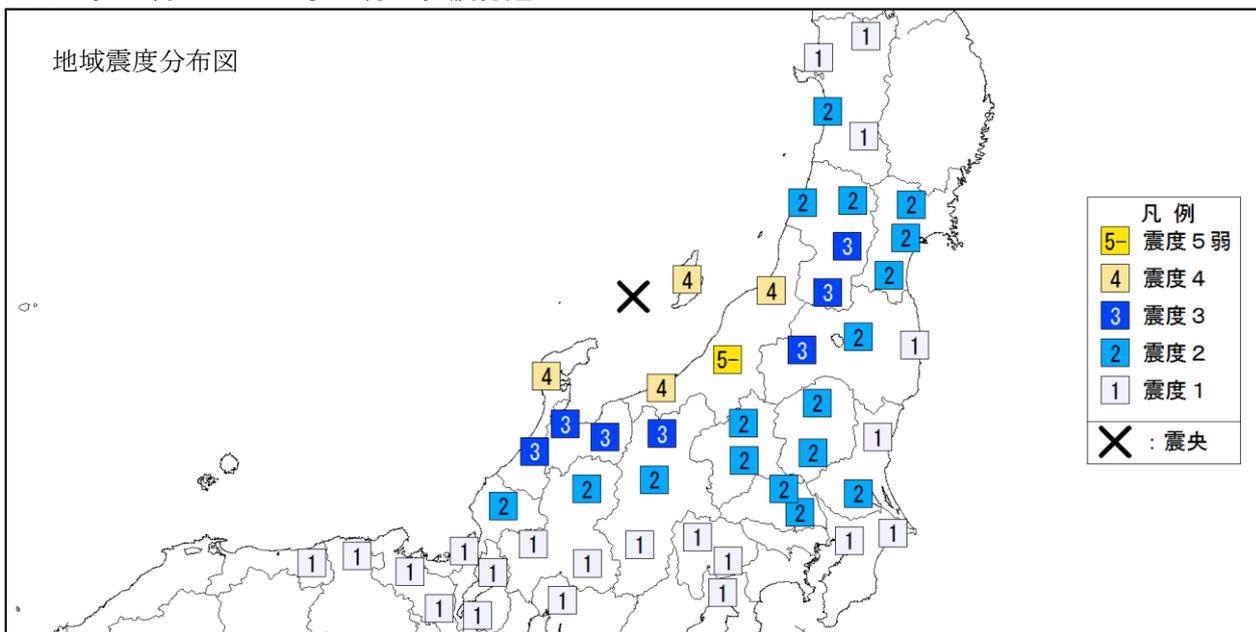




2024年01月02日10時17分 石川県能登地方







(3) 地震・津波の知識

「令和6年能登半島地震」について ②

2024年1月1日16時10分に発生した令和6年能登半島地震（深さ16km、M7.6）では、石川県輪島市・志賀町で震度7を観測したほか、北陸地方を中心に、北海道～九州地方にかけて震度6強～1を観測しました（図1）。鳥取県内では震度4を観測。また、長周期地震動階級4が石川県能登で観測されたほか、長周期地震動階級3～1が広い範囲で観測されています（図2）。鳥取県では西部で長周期地震動階級1が観測されています。死者241人、負傷者1,291人、住家全壊6,026棟など多くの被害が確認されています（2月9日14時00分現在：総務省消防庁による）。

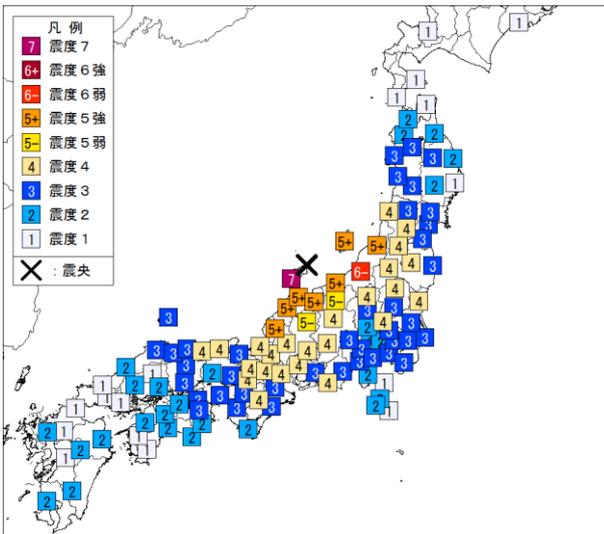


図1：地域震度分布図

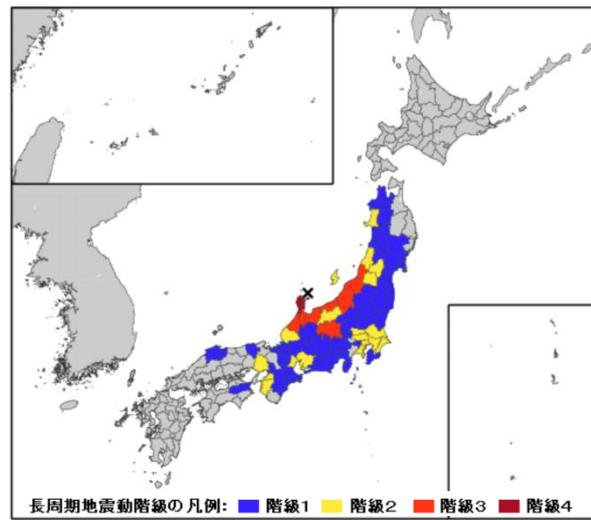


図2：長周期地震動階級1以上が観測された地域

この地震により、大津波警報、津波警報、津波注意報が日本海沿岸地域を中心に発表され、石川県の金沢で80cm、山形県の酒田（※）で0.8mなど、各地で津波が観測されています。鳥取県沿岸には「津波注意報」が発表（1月1日16時12分から1月2日10時00分）され、鳥取県でも津波が観測されています（図3）。（※）巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m

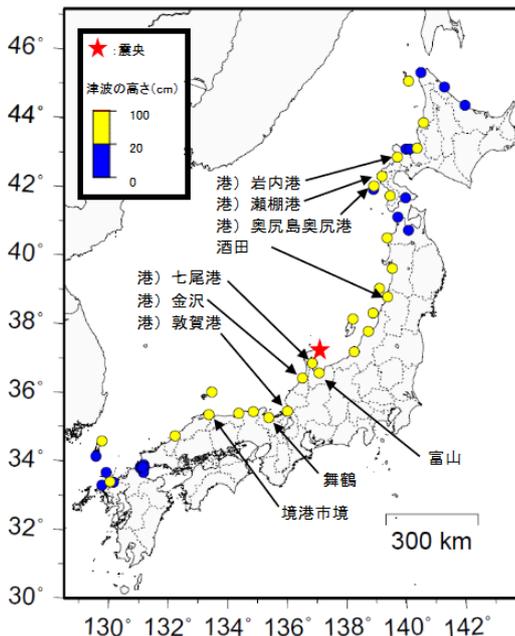


図3：津波を観測した地点

港)は港湾局の所属であることを表す。

主な観測点の津波観測値

都道府県	観測点名	所属	第一波		最大波		
			時刻		時刻		高さ cm
			日	時 分	日	時 分	
石川県	金沢	港湾局	1	16 52	1	19 9	80
山形県	酒田	気象庁	1	17 13	1	19 8	0.8m ※
富山県	富山	気象庁	1	16 13	1	16 35	79
北海道	瀬棚港	港湾局	1	17 55	1	18 26	54

鳥取県内観測点の津波観測値

鳥取県	岩美町田後	国土地理院	1	17 -	1	20 16	20
鳥取県	境港市境	気象庁	1	18 16	1	22 19	60

各地の津波観測値は、令和6年1月の地震活動及び火山活動について（令和6年2月8日報道発表）

「関東・中部地方の主な地震活動」として、令和6年能登半島地震に関する資料内に掲載されています。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2402/08a/2401kanto-chubu.pdf>

1月1日 M7.6 の地震発生以降、地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少しています(図4)が、平成16年(2004年)新潟県中越地震や平成28年(2016年)熊本地震などと比較しても、地震回数は多く推移しています(図5)。

今回の地震の活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東-南西に延びる150 km程度の範囲に広がっています(図6)。

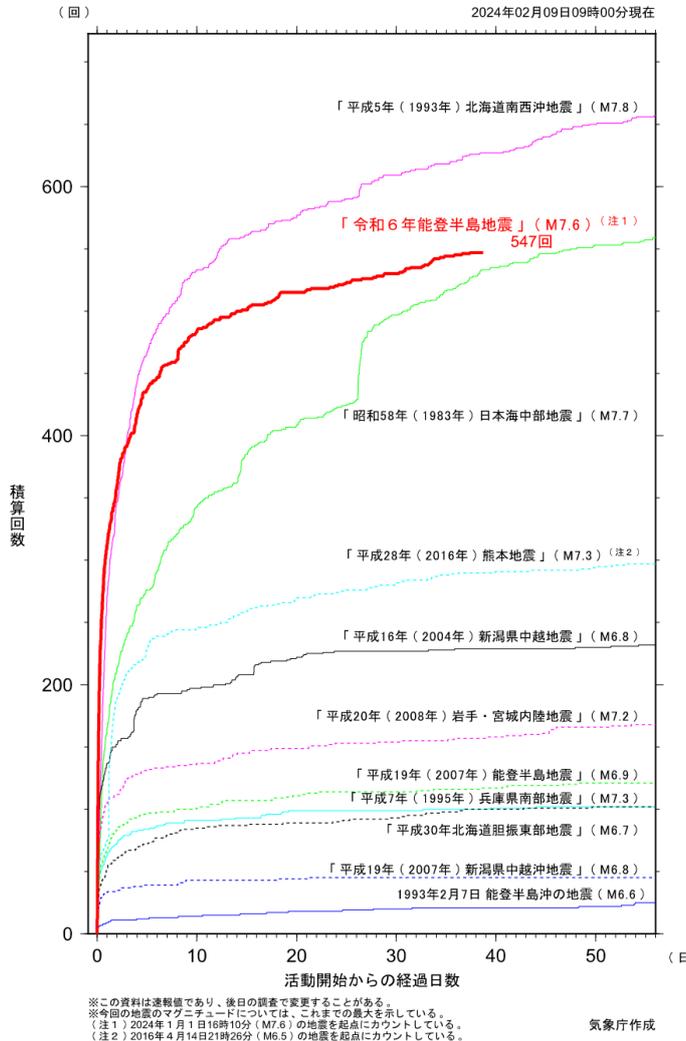


図5: 陸のプレートでの主な地震活動の地震回数比較(マグニチュード3.5以上)

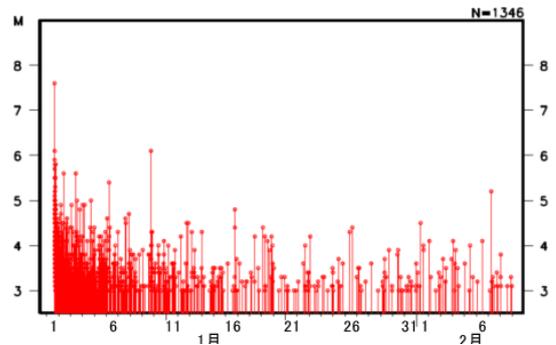


図4: 矩形領域内の地震活動経過図(2024年1月1日00時以降)

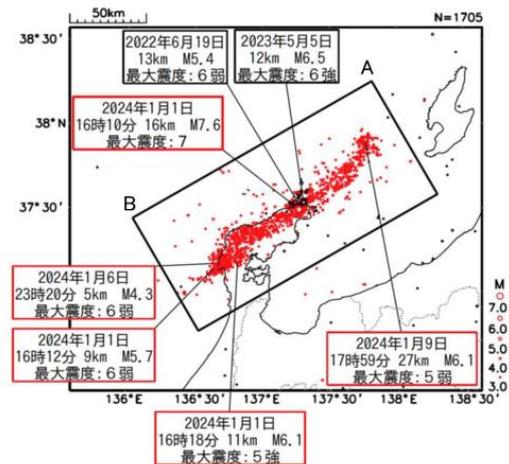


図6: 震央分布図(2020年12月1日~2024年2月9日09時00分、深さ0~30km、M3.0以上)

2024年1月1日以降の地震を赤く表示
 吹き出しは、最大震度6弱以上の地震又はM6.0以上の地震

1月1日に発生した M7.6 の地震の発生前と比較すると、石川県能登地方では地震活動は依然として活発な状態です。平常時と比べると依然として発生しやすい状況にあります(2024年2月9日現在)。

2月9日に開催された地震調査研究推進本部地震調査委員会で詳細な検討がなされた結果、「これまでの地震活動及び地殻変動の状況を踏まえると、2020年12月以降の一連の地震活動は当分続くと考えられ、M7.6の地震後の活動域及びその周辺では、今後強い揺れや津波を伴う地震発生の可能性がある。」とも評価されています。

気象庁では令和6年能登半島地震に関するポータルサイトを開設し、地震や気象状況など、関連する情報を取りまとめすぐにアクセスできるようにしています。

→気象庁 HP ホーム>令和6年能登半島地震の関連情報

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

そのほかの地震活動の詳細については、気象庁ホームページまたは『令和6年1月地震・火山月報（防災編）』をご覧ください。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/>

問い合わせ先：鳥取地方気象台

TEL：0857-29-1313